

2013年3月期第4四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

NOMURA

野村ホールディングス株式会社

2013年4月

© Nomura

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2013年3月期第4四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P3-4)
- 2013年3月期決算の概要(P5)
- セグメント情報(P6)
- 営業部門(P7-8)
- アセット・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門(P11-14)
- 金融費用以外の費用(P15-16)
- コスト削減の進捗(P17)
- 強固な財務基盤を維持(P18)
- 自己資本(Tier 1)、リスク調整後資産の変動(P19)
- 資金調達と流動性(P20)
- 欧州周辺国へのエクスポージャー(P21)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P23)
- バリュースコア・リスク(P24)
- 連結決算概要(P25)
- 連結損益(P26)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P27)
- 連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)(P28)
- セグメント「その他」(P29)
- 営業部門関連データ(P30-34)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P35-36)
- ホールセール部門関連データ(P37-38)
- 人員数(P39)

2013年3月期通期の決算ハイライト

■ 大幅な増収増益 ～ 税前利益、当期純利益¹は2007年3月期以来の高水準

- 収益:	1兆8,136億円	(前年比:18%増)
- 税前利益:	2,377億円	(前年比:180%増)
- 当期純利益 ¹ :	1,072億円	(前年比:9.3倍)
- ROE:	4.9%	(前年:ROE 0.6%)
- 一株当たり配当金:	期末 6円、年間 8円	

■ 3セグメント合計の税前利益は1,935億円(前年比4.2倍) ～ 全てのビジネスが増益

- 営業部門

- ✓ 収益:3,979億円(前年比14%増)、税前利益:1,006億円(前年比59%増)
- ✓ コンサルティング営業が定着、市況好転も追い風となり、下期業績は大幅に回復

- アセット・マネジメント部門

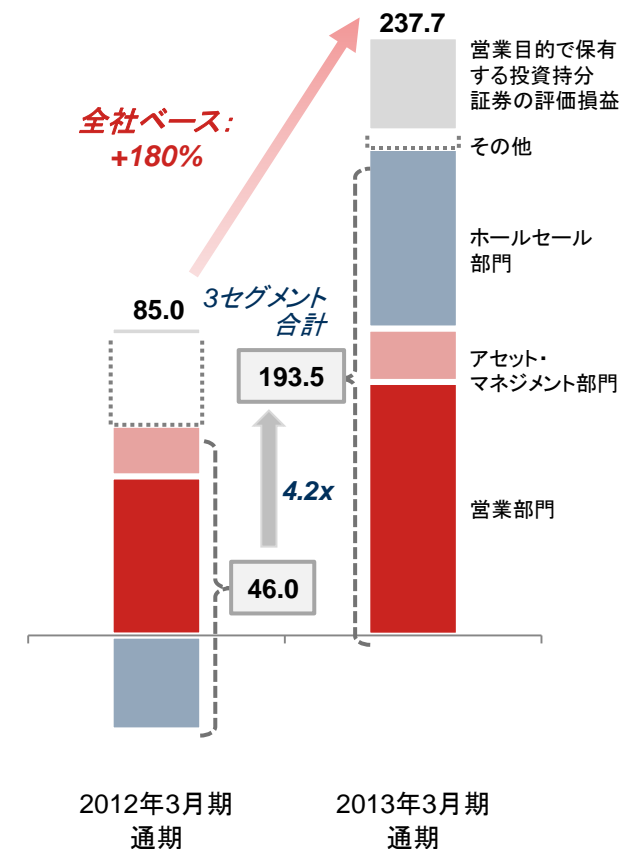
- ✓ 収益:689億円(前年比5%増)、税前利益:212億円(前年比3%増)
- ✓ 安定的に運用資産残高を拡大

- ホールセール部門

- ✓ 収益:6,449億円(前年比16%増)、税前利益717億円(前年:税前損失377億円)
- ✓ フィクスト・インカムが収益を牽引
- ✓ コスト削減等による影響を吸収し、エクイティ、インベストメント・バンキング²共に前年並みの収益を確保
- ✓ 収益性改善に向けた取組を継続～コスト水準を引き下げ、大幅な税前黒字を達成

税前利益は大幅に伸長

(10億円)



(1) 当社株主に帰属する当期純利益
 (2) インベストメント・バンキングその他を除く収益

2013年3月期第4四半期の決算ハイライト

- 前四半期比、大幅な増収増益 ~ 税前利益、当期純利益¹は2006年3月期第4四半期以来の高水準
- 好調な営業部門に加え、野村不動産ホールディングス(以下「野村不動産」)株式の売出し等による一時利益(501億円)が 全社利益に貢献

- 収益:	6,536億円 (前四半期比:68%増)
- 税前利益:	1,697億円 (前四半期比:13.1倍)
- 当期純利益 ¹ :	824億円 (前四半期比:4.1倍)
- ROE:	14.8% (前四半期:ROE 3.8%)

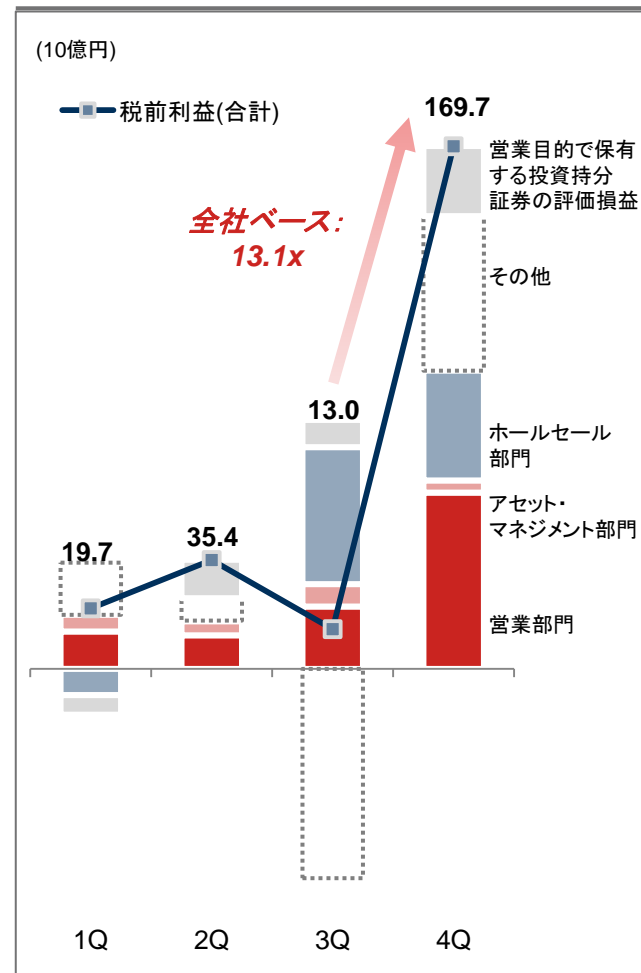
- 3セグメント合計の税前利益は968億円(前四半期比35%増) ~ 2008年3月期第1四半期以来の高水準

- 営業部門:
 - ✓ 収益:1,387億円(前四半期比45%増)、税前利益:572億円(前四半期比182%増)
 - ✓ 株式市場の活況を背景に、エクイティ関連プロダクトが大幅に伸長
- アセット・マネジメント部門
 - ✓ 収益:183億円(前四半期比3%減)、税前利益:39億円(前四半期比46%減)
 - ✓ 成功報酬・配当収入等があった前四半期比と同水準の収益を確保
- ホールセール部門
 - ✓ 収益:1,969億円(前四半期比4%増)、税前利益:357億円(前四半期比20%減)
 - ✓ 収益は2010年3月期第3四半期以来の高水準 ~ 日本の収益が大幅に増加

- その他セグメントの税前利益は501億円

- ✓ 野村不動産の株式売出しによる譲渡益:116億円、残る保有持分の評価益:385億円
- ✓ 子会社損益、関連会社損益の持分額、3セグメントに属さないビジネスからの利益貢献:約450億円
- ✓ 自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失:348億円

税前利益は大幅に伸長



(1) 当社株主に帰属する当期純利益

決算ハイライト

	2013年3月期 第4四半期	前四半期比 (%)	前年 同期比 (%)	2013年3月期 通期	前年比 (%)
収益合計 (金融費用控除後)	6,536億円	+68%	+31%	1兆8,136億円	+18%
金融費用以外の費用	4,839億円	+29%	+10%	1兆5,759億円	+9%
税前利益	1,697億円	13.1x	+179%	2,377億円	+180%
当期純利益 ¹	824億円	4.1x	3.7x	1,072億円	9.3x
EPS ²	21.55円	4.0x	3.6x	28.37円	9.0x
ROE ³	14.8%			4.9%	

- (1) 当社株主に帰属する当期純利益
 (2) 希薄化後一株当たり当期株主に帰属する純利益
 (3) 各期間の当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

		2013年3月期 第4四半期	前四半期比	前年同期比	2013年3月期 通期	前年同期比
収益	営業部門	1,387億円	+45%	+50%	3,979億円	+14%
	アセット・マネジメント部門	183億円	-3%	+16%	689億円	+5%
	ホールセール部門	1,969億円	+4%	+24%	6,449億円	+16%
	3セグメント合計	3,540億円	+17%	+33%	1兆1,117億円	+14%
	その他	2,769億円	3.6x	+24%	6,642億円	+18%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	228億円	+156%	+130%	377億円	9.9x
収益合計(金融費用控除後)		6,536億円	+68%	+31%	1兆8,136億円	+18%
税前利益	営業部門	572億円	+182%	+182%	1,006億円	+59%
	アセット・マネジメント部門	39億円	-46%	-5%	212億円	+3%
	ホールセール部門	357億円	-20%	3.0x	717億円	-
	3セグメント合計	968億円	+35%	+167%	1,935億円	4.2x
	その他(※)	501億円	-	3.4x	66億円	-81%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	228億円	+156%	+130%	377億円	9.9x
税前利益合計		1,697億円	13.1x	+179%	2,377億円	+180%

(※)第4四半期の「その他」税前利益(501億円)に関する補足:

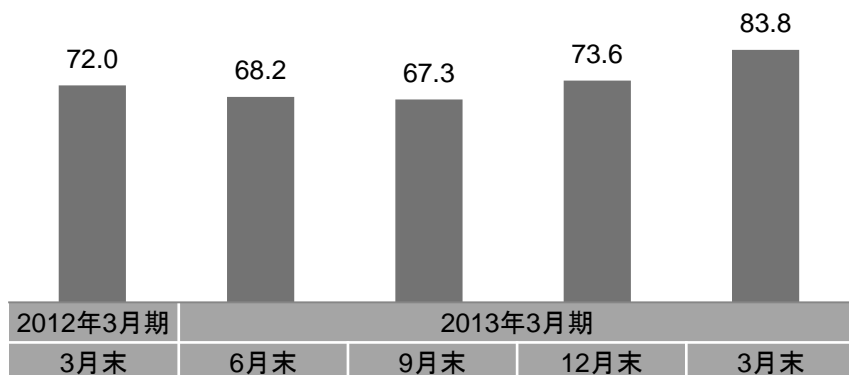
- 野村不動産の株式売出しによる譲渡益:116億円、残る保有持分の評価益:385億円
- 子会社損益、関連会社損益の持分額、3セグメントに属さないビジネスからの利益貢献:約450億円
- 自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(348億円)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年 3月期	2013年3月期						
				4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計 (金融費用控除後)	350.3	397.9	92.4	82.7	80.8	95.7	138.7	+45%	+50%	
金融費用以外の費用	287.1	297.3	72.1	70.5	69.8	75.4	81.5	+8%	+13%	
税前利益	63.1	100.6	20.3	12.2	11.0	20.3	57.2	+182%	+182%	

顧客資産残高

(兆円)



決算のポイント

<通期>

- 収益: 3,979億円 (前年比14%増)
- 税前利益: 1,006億円 (前年比59%増)
- コンサルティング営業が定着、市況好転も追い風となり、下半期業績は大幅に回復

<第4四半期>

- 収益: 1,387億円 (前四半期比45%増、前年同期比50%増)
- 税前利益: 572億円 (前四半期比182%増、前年同期比182%増)

- 前四半期比、大幅増収増益～税前利益は2006年3月期第3四半期以来の高水準
 - 総募集買付金額は前四半期比69%増加
 - 株式市場の活況を背景に、エクイティ関連プロダクトが大幅に伸長
 - 新業務系基幹システムに付随するコスト増(約50億円)は、好調な収益で吸収

■顧客基盤

- 顧客資産残高 83.8兆円
- 残あり顧客口座数 502万口座
- 顧客資産純増 380億円

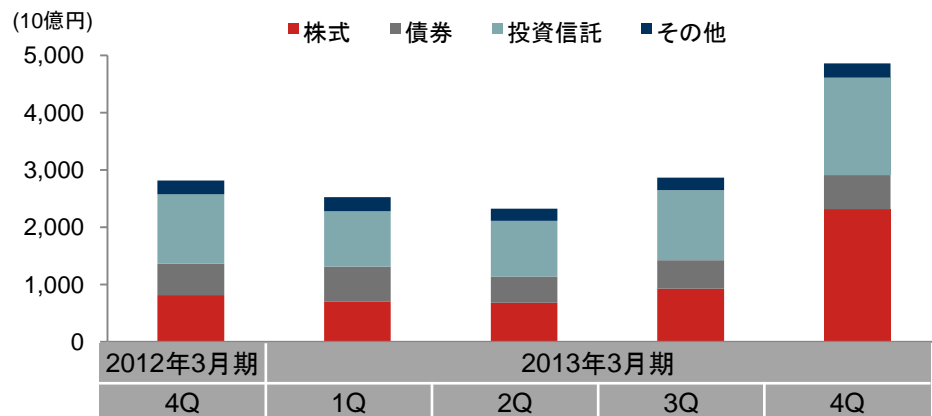
■主な投信販売額

- 野村日本ブランド株投資 2,069億円
- 野村高配当インフラ関連株プレミアム 1,710億円
- 野村日本高配当株プレミアム 1,236億円
- 東京海上J-REIT投信 854億円

■その他の販売状況

- IPO、PO 1,571億円
- リテール債券販売額 5,941億円
- うち外債販売額 3,279億円

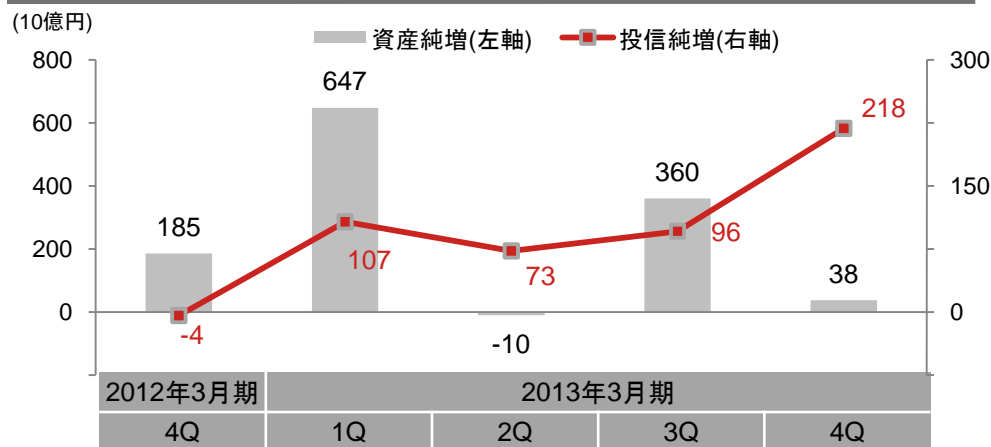
総募集買付額



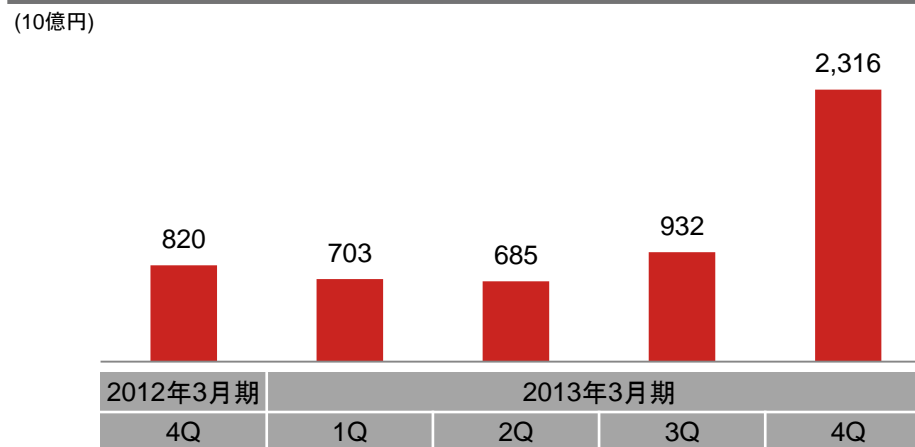
総募集買付額は前四半期比69%増～全プロダクトが貢献

- 株式：募集買付額は前四半期比2.5倍
 - リスク許容度の高まり、東証売買代金の増加等により、セカンダリー・ビジネスが大幅に拡大
 - プライマリー案件に加え、外国株式も収益に貢献
- 投信：募集買付額は前四半期比40%増加
 - 既存の日本株関連投信が好調
 - 投信純増は2,183億円～4四半期連続で純増
- 債券：販売額は前四半期比20%増加
 - 事業債、個人向け国債等の国内債が堅調

顧客資産純増¹と投信純増²



株式募集買付が大幅に伸長



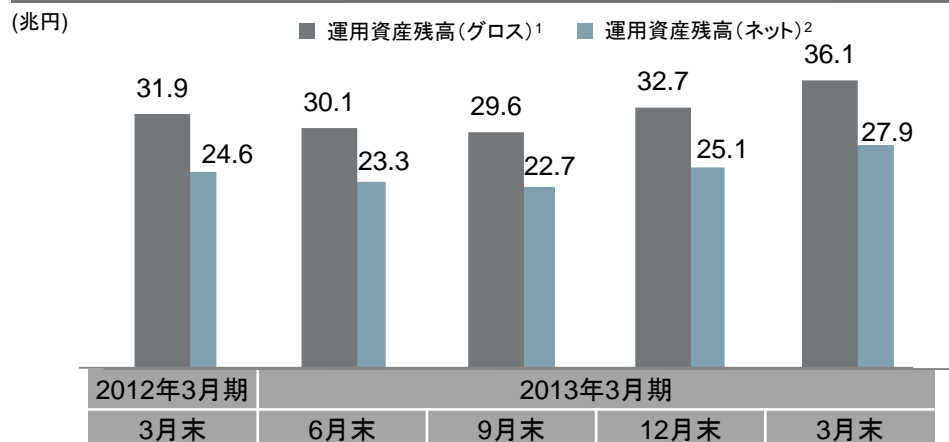
(1) 顧客資産純増＝資産流入額－資産流出額、地域金融機関分を除く

(2) リテールチャネルのみ

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四半期比	前年同期比
	2012年3月期	2013年3月期	2012年3月期4Q	2013年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計 (金融費用控除後)	65.8	68.9	15.7	16.4	15.4	18.8	18.3	-3%	+16%	
金融費用以外の費用	45.3	47.8	11.6	11.0	10.9	11.5	14.4	+25%	+24%	
税前利益	20.5	21.2	4.1	5.4	4.6	7.3	3.9	-46%	-5%	

運用資産残高



決算のポイント

<通期>

- 収益: 689億円 (前年比5%増)
- 税前利益: 212億円 (前年比3%増)
 - 安定的に運用資産残高を拡大～前年比増収・増益を達成

<第4四半期>

- 収益: 183億円 (前四半期比3%減、前年同期比16%増)
- 税前利益: 39億円 (前四半期比46%減、前年同期比5%減)
 - 成功報酬・配当収入等があった前四半期と同水準の収益を確保～運用資産残高は前四半期比10%増加
 - 保有資産の評価見直しにより一時費用等を計上し、前四半期比で減益

投資信託ビジネス

- 投資家のリスク許容度が向上～日本株・高配当株投信を中心に資金流入

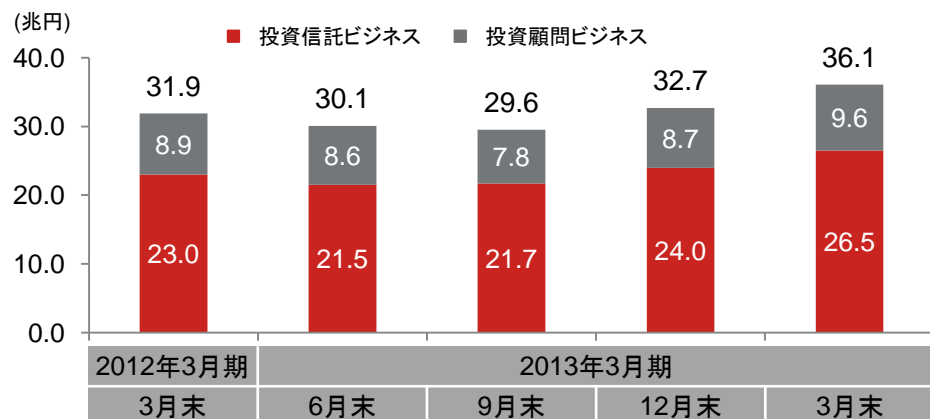
第4四半期資金流入額	
✓ 野村高配当インフラ関連株プレミアム:	1,399億円
✓ 野村日本ブランド株投資:	1,284億円
✓ 野村日本高配当株プレミアム:	991億円
- ETF商品「NEXT FUNDS」のラインナップ充実
 - 「野村日本株高配当70連動型ETF」を新規上場: インカム収入ニーズに対応
 - ETF本数合計40本 3月末残高 2.6兆円 (シェア51%、業界1位維持)³

投資顧問ビジネス

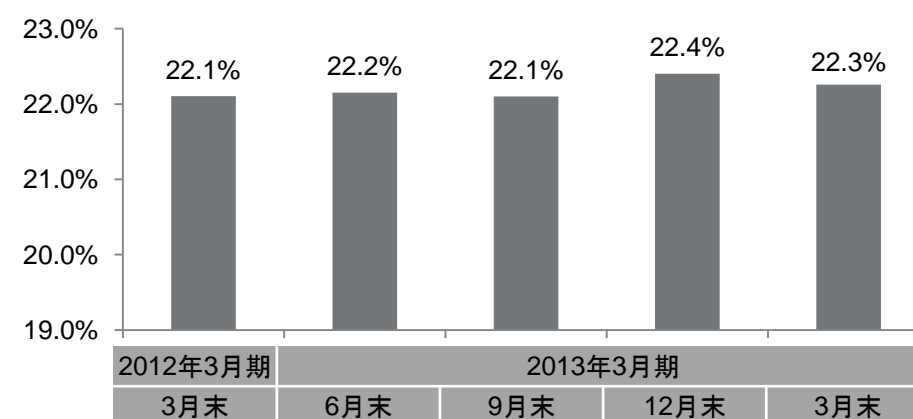
- 運用資産残高は市況の改善もあり前四半期比10%増加～引き続き多様なプロダクトの運用マndateを獲得

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後 (3) 出所: 投資信託協会

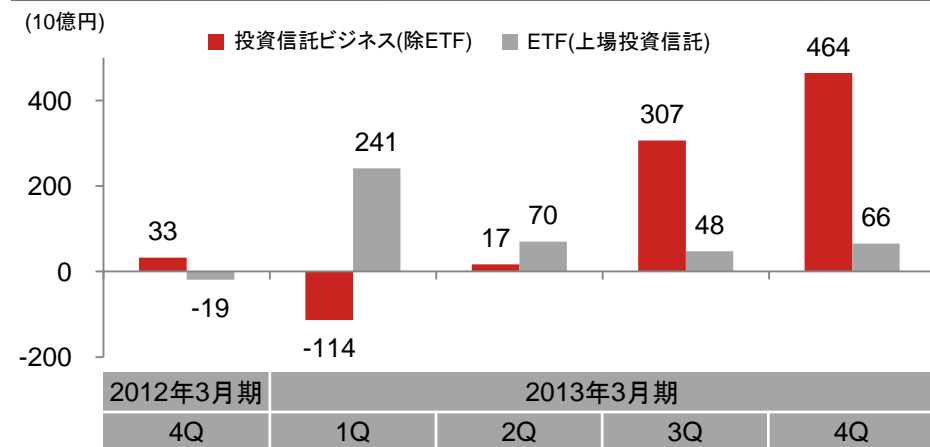
運用資産残高(グロス)¹—ビジネス別



野村アセットマネジメントの公募投信シェア³



投資信託ビジネスの資金流入²



受賞アワード

- 「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2013」で最優秀ファンド賞(9本)を受賞
 - <債券型 エマージング グローバル HC (評価期間5年)>
野村新興国債券投信Aコース(毎月分配型)
 - <債券型 ミドル ハイイールド (評価期間5年)>
高利回り社債オープン・為替ヘッジ(毎月分配型)
 - <株式型 インド株 (評価期間5年)>
野村インド株投資
 - <ミックスアセット 日本円 安定型 (評価期間10年)>
バランスセレクト30
- 「Lipper Fund Awards Germany 2013」で最優秀ファンドを受賞
 - <Bond Euro – Inflation Linked (評価期間3年、5年)>
Nomura Asset Management Deutschland KAG mbH が運用する
“Nomura Real Return Fonds”

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計

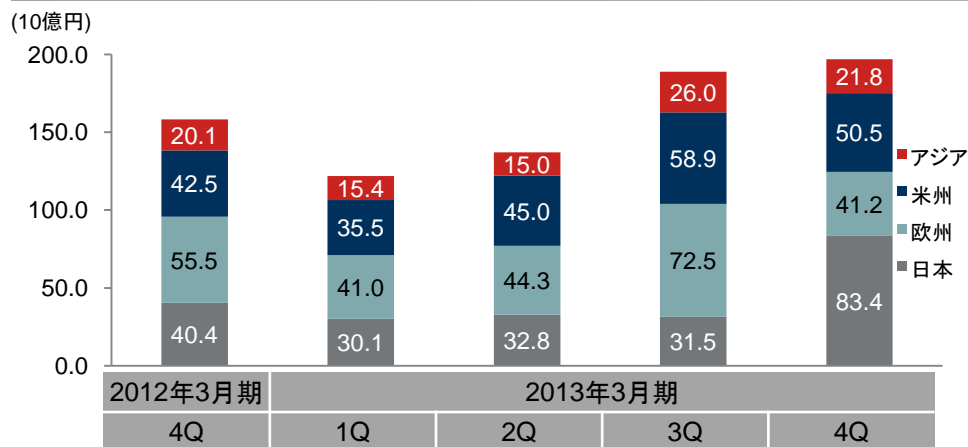
(2) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入額

(3) 出所: 投資信託協会

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失¹

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年 3月期 4Q	2013年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計 (金融費用控除後)	555.0	644.9	158.4	121.9	137.1	189.0	196.9	+4%	+24%	
金融費用以外の費用	592.7	573.2	146.5	130.4	136.9	144.6	161.3	+12%	+10%	
税前利益/損失	-37.7	71.7	11.9	-8.6	0.2	44.4	35.7	-20%	3.0x	

地域別収益¹



(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示
 (2) インベストメント・バンキングその他を除く収益

決算のポイント

<通期>

- 収益: 6,449億円 (前年比16%増)
- 税前利益: 717億円
 - フィクスト・インカムが収益を牽引～全プロダクト・海外各地域で前年比増収
 - コスト削減等による影響を吸収し、エクイティ、インベストメント・バンキング²共に前年並みの収益を確保
 - 収益性改善に向けた取組を継続～コストは3%低下

<第4四半期>

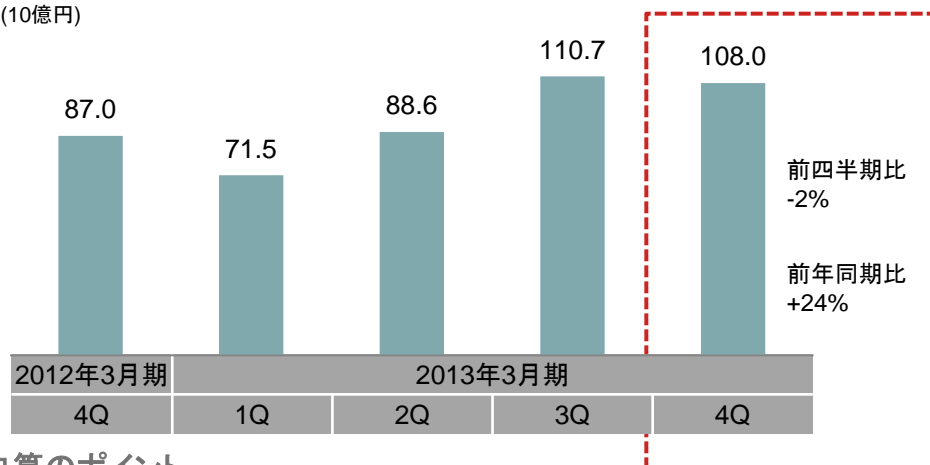
- 収益: 1,969億円 (前四半期比4%増、前年同期比24%増)
- 税前利益: 357億円 (前四半期比20%減、前年同期比3.0倍)
 - 収益は2010年3月期第3四半期以来の高水準～日本の収益が大幅に増加
 - コスト削減に伴う一時費用(約60億円)や円安の影響を受け、コストは増加

地域別概況(収益、前四半期比)

- 日本(834億円、165%増)
 - 市況の回復・収益機会の拡大を受けて、全ビジネスラインが前四半期比で増収
- 米州(505億円、14%減)
 - 好調だった前四半期比で減収となるも、高水準の収益を維持～フィクスト・インカムが収益を牽引、エクイティは回復
- 欧州(412億円、43%減)
 - 市場のボラティリティ低下等を背景にフィクスト・インカムが減速～プライベート・エクイティ資産売却による一時収益(約160億円)も剥落し、前四半期比で減収
- アジア(218億円、16%減)
 - エクイティが増収となるも、過去10四半期で最高水準となった前四半期比では減収

収益合計(金融費用控除後)¹

(10億円)



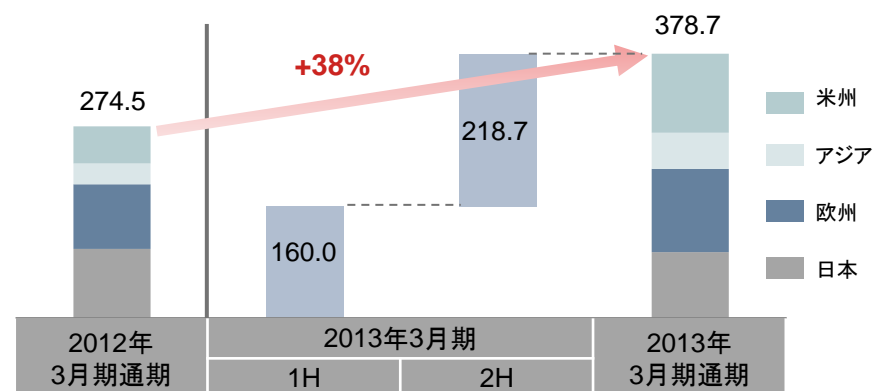
決算のポイント

<第4四半期>

- 収益: 1,080億円 (前四半期比2%減、前年同期比24%増)
 - 前四半期に次ぐ好調な収益水準～海外の減速を、好調な日本が吸収
 - ✓ 日本: マクロ環境の変化により収益機会が増加
 - 全地域で顧客フロー収益が伸長、前四半期比で24%増加
- 主要プロダクトの状況
 - 金利
 - ✓ グローバルで引き続き高水準な収益を維持
 - ✓ 欧州は市場のボラティリティ低下等を背景に、好調だった前四半期比で減収
 - 証券化商品
 - ✓ 資産価格の上昇が一服し前四半期比減収となるも、収益は堅調に推移

通期では海外各地域で収益規模が拡大

(10億円)

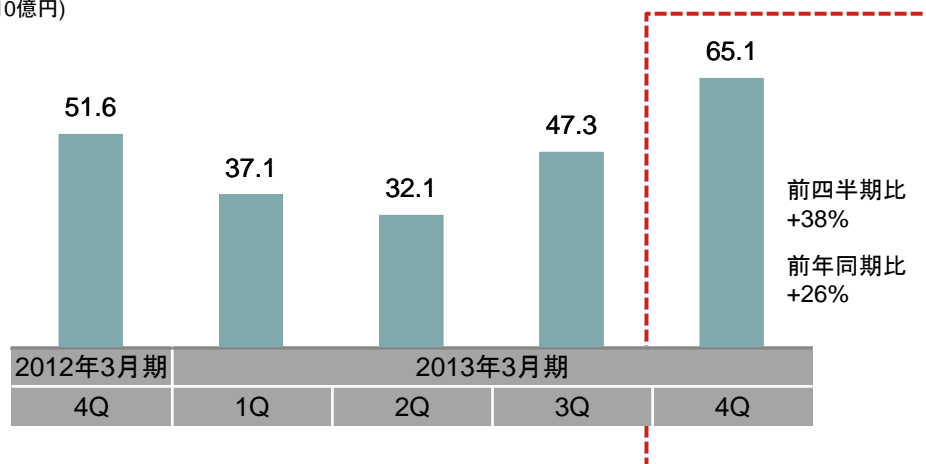


- 米州: 前年比約2.1倍の増収 ～ ビジネス再構築後、最大の収益
 - 証券化商品に加え、金利・クレジットの収益が拡大
- アジア: 前年比約70%の増収
 - G10通貨・ローカル通貨建ての各プロダクトで顧客基盤が拡大
- 欧州: 前年比約30%の増収
 - 厳しい市場環境の中、顧客基盤の拡大により収益が増加

(1) 2012年4月の組織改正に伴い当期の開示に合わせて数値を組み替えて表示

収益合計(金融費用控除後)¹

(10億円)

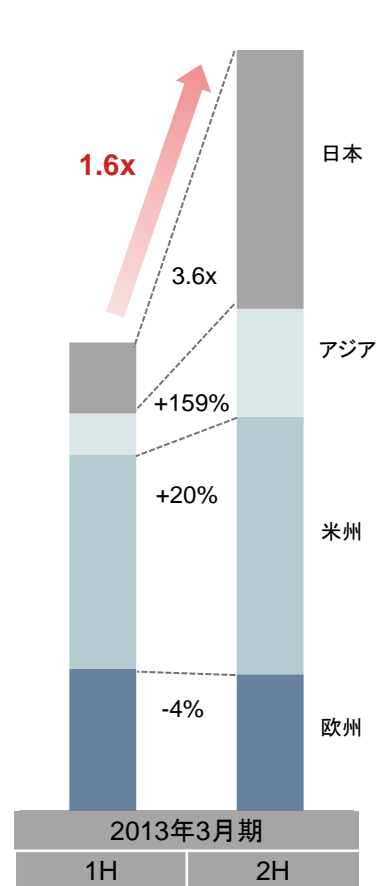


決算のポイント

<第4四半期>

- 収益: 651億円 (前四半期比: 38%増、前年同期比: 26%増)
 - 顧客フロー収益
 - ✓ 前四半期比37%増加 ~ 主要株式市場の売買代金が増加
 - ✓ 特に日本は大幅に回復
 - トレーディング収益
 - ✓ 主要株式市場の指数上昇に伴い、トレーディングが好調
- デリバティブ・ビジネス: 第3四半期以降、拡大基調
 - 日本・アジア共に大幅に拡大
- Instinetへの執行機能統合
 - 主要顧客の大半は移管済み、今期コスト削減は目標を上回って進捗

下半期の収益モメンタム



日本:

- 顕著な市場の活発化
- プライマリー案件やブロック・トレード等がキャッシュ収益に貢献
- 指数上昇に伴い、デリバティブ収益が大きく改善

アジア:

- キャッシュ収益は年後半にやや回復
- デリバティブ収益が回復

米州:

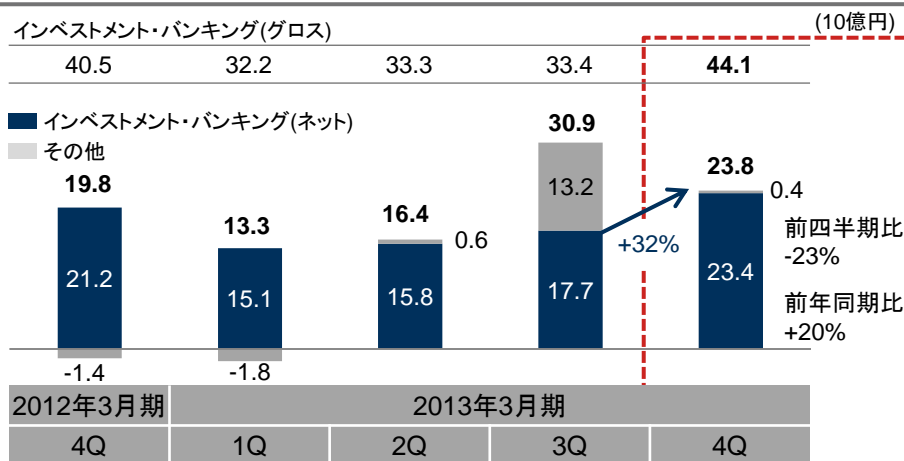
- 地域別で最大の収益貢献
- Instinetを中心とした安定的なキャッシュ収益
- トレーディング収益は下半期に大きく回復

欧州:

- 上半期比、ほぼ横ばい
- 欧州経済情勢により、顧客アクティビティは引き続き低調

(1) 2012年4月の組織改正に伴い当期の開示に合わせて数値を組み替えて表示

収益合計(金融費用控除後)¹



決算のポイント

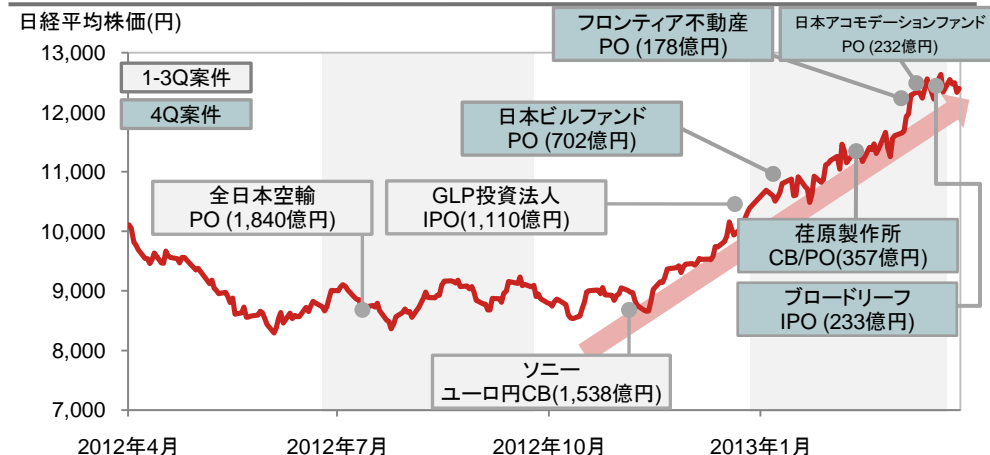
<第4四半期>

- 収益:238億円 (前四半期比:23%減、前年同期比:20%増)
 - プライベート・エクイティの譲渡益があった前四半期比で減収となるも、インベストメント・バンキング(ネット)は、堅調な国内ビジネスを背景に32%増収
- インベストメント・バンキング(グロス)収益は441億円 ~前四半期比・前年同期比ともに増収
 - 日本:過去8四半期で最高の収益水準
 - ✓ 特にREIT等のECM案件、大型DCM案件が収益を牽引
 - 海外:各地域で収益機会が減少する中、ビジネスのモメンタムを維持
 - ✓ 金融機関やフィナンシャル・スポンサーを中心に、M&Aやソリューションなど幅広いビジネスを獲得
 - ✓ 米州のレバレッジド・ファイナンスの収益が前四半期に引き続き伸長

(1) 2012年4月の組織改正に伴い当期の開示に合わせるために数値を組み替えて表示

(2) Exchangeable Bond、他社株転換社債

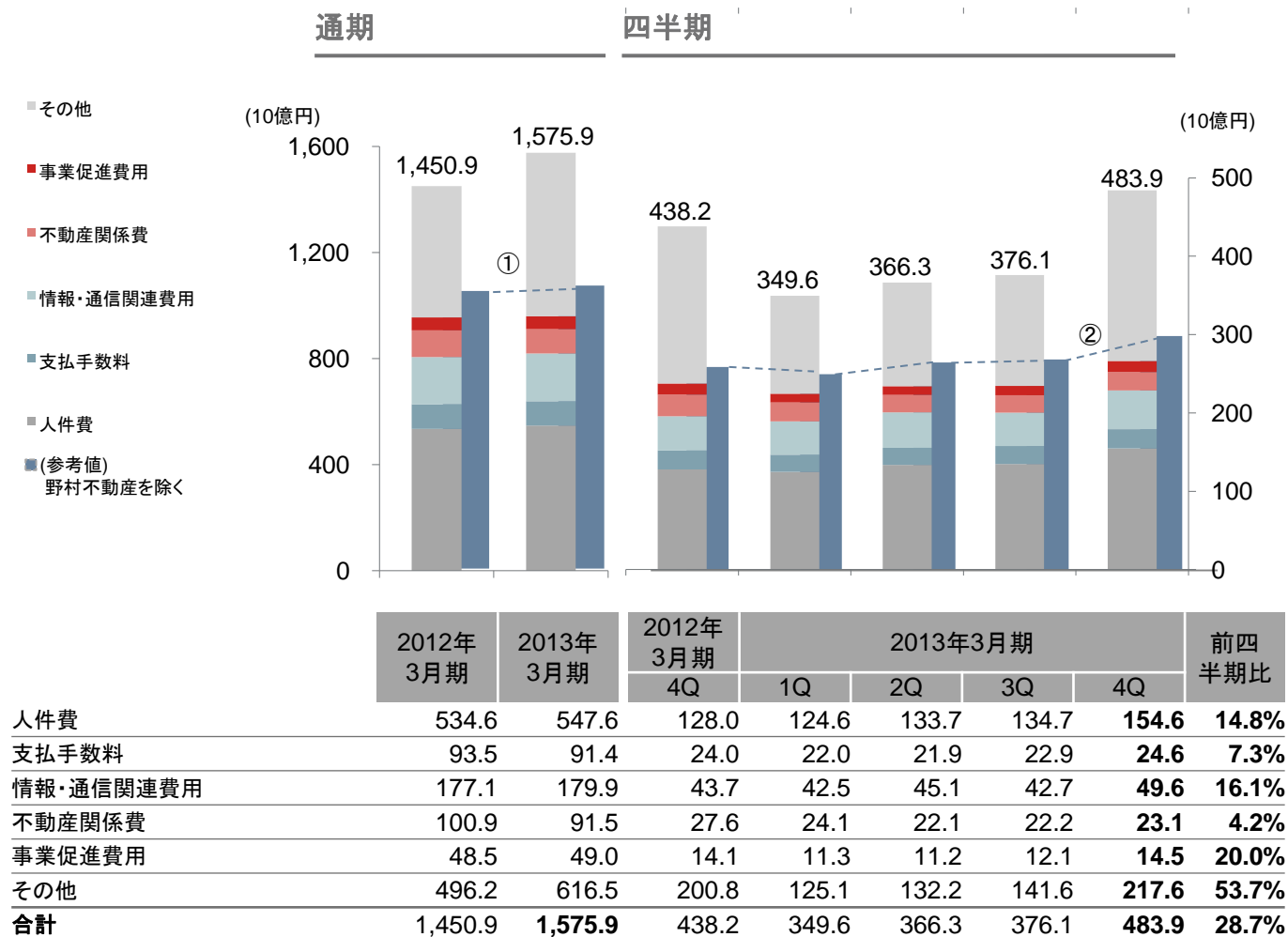
日本:株価上昇を背景にECMビジネスの収益環境が改善



グローバル:地域間連携の推進により、高プロファイル案件を複数獲得

<第4四半期の代表案件>

損保ジャパン ドル建ハイブリッド証券 (\$1.4bn)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同社初となるドル建ハイブリッド証券のグローバル発行案件 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ジョイント・ブックランナー(トップレフト)、共同ストラクチャリング・コーディネーター 	投資家ニーズに即した商品設計、グローバルな販売力を活用
Electricite de France ドル建ハイブリッド証券 (\$3.0bn)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同社の過去最大となる複数本建てハイブリッド証券(総額62億ユーロ相当) <ul style="list-style-type: none"> ✓ ジョイント・ブックランナー 	
Lotte Shopping EB² (KRW321.2bn)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ウォン建グローバルEB²~第一号案件 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ジョイント・ブックランナー 	
住友商事/East Surrey HD (£340m)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 注力する資源セクターでグローバル連携を強化、ビジネスを拡大 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 住友商事側の財務アドバイザー 	



決算のポイント

<通期>

■ 金融費用以外の費用: 1兆5,759億円
(前年比: 9%増)

- 野村土地建物(2011年5月に子会社化)関連の連結期間の差異、野村不動産の収益拡大に伴う売上原価の増加など
- 野村不動産を除くベースでは、前年比、ほぼ横ばい...①

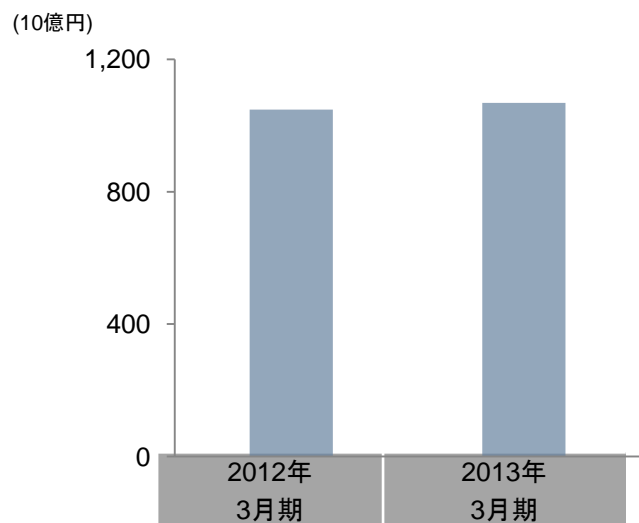
<第4四半期>

■ 金融費用以外の費用: 4,839億円
(前四半期比: 29%増)

- 野村不動産の売上原価が増え、その他費用が前四半期比54%増加
- 野村不動産を除くベースでは、前四半期比で11%増加...②

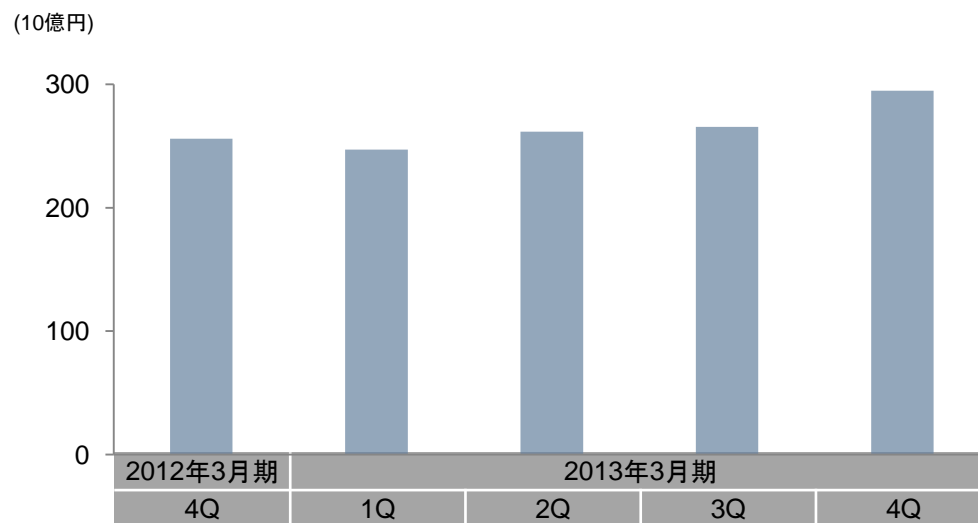
通期

- 金融費用以外の費用は、前年比、ほぼ横ばい(2%増)
 - ✓ 円安進行による海外ビジネスのコスト増
 - ✓ 一時費用の増加
 - コスト削減に伴う一時費用(185億円)～前年は124億円を計上
 - 営業部門の業務系基幹システム刷新に伴う、システム除却損(約70億円)
 - のれんの減損(83億円)
- 上記要因を除く費用ベースは、前年比で減少



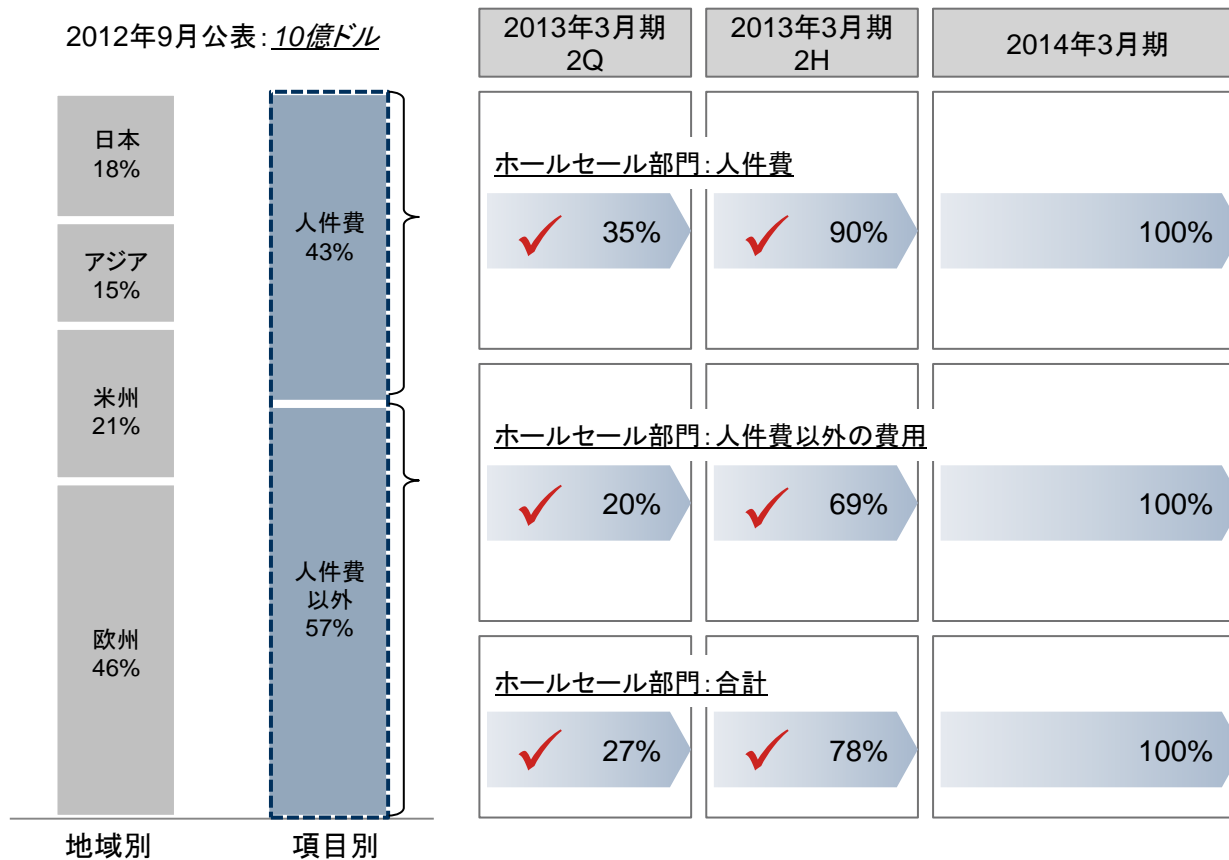
四半期

- 金融費用以外の費用は、前四半期比11%増加
 - ✓ 人件費
 - コスト削減に伴う一時費用は75億円～前四半期(39億円)より増加
 - 増収による賞与の積み増し、円安進行による海外ビジネスのコスト増など
 - ✓ 情報・通信関連費用
 - 営業部門の新業務系基幹システムに付随するコスト増(約50億円)
- 好調な収益でコスト増を吸収～税前利益は前四半期を大幅に上回る水準



総額10億ドルのコスト削減スケジュール

2013年3月末までの進捗



- 追加10億ドルのコスト削減は、3月末現在で78%進捗
 - 人件費削減は計画を上回るスピードで進捗(90%)

- 収益性改善に向けた取り組み
 - Instinetへの執行機能統合
 - ✓ 主要顧客の大半は移管済み、今期コスト削減は当初目標を上回って進捗
 - リサーチやデリバティブ・ビジネスの体制見直し
 - インベストメント・バンキングは注力する分野へ経営資源を再配分
 - コーポレートは、システム費用の抜本的見直し、ビジネスの効率性向上を推進

(1) 10億ドルの地域別、項目別内訳は、2012年9月6日のインベスターズ・デー公表値より修正

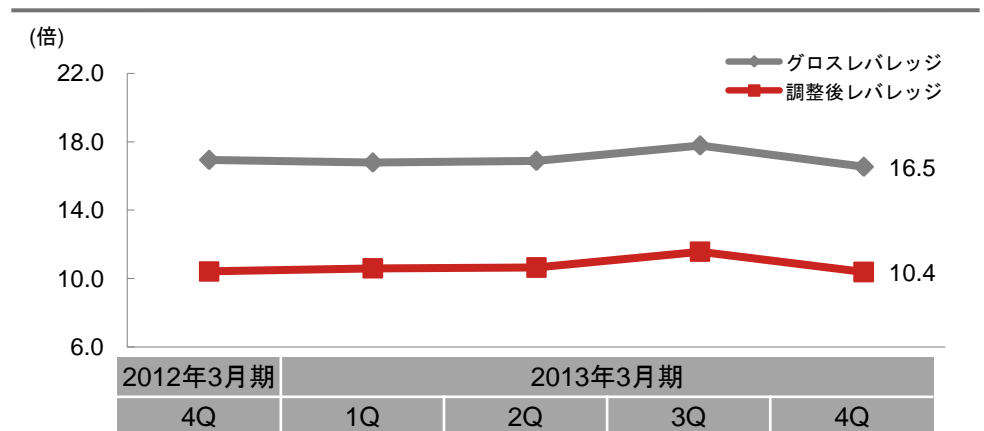
バランス・シート関連指標と連結自己資本規制比率

■ 資産合計	37.9兆円
■ 当社株主資本	2.3兆円
■ グロス・レバレッジ	16.5倍
■ 調整後レバレッジ ¹	10.4倍
■ レベル3資産 ²	約0.5兆円 (デリバティブ負債相殺後)
■ 流動性ポートフォリオ	5.9兆円

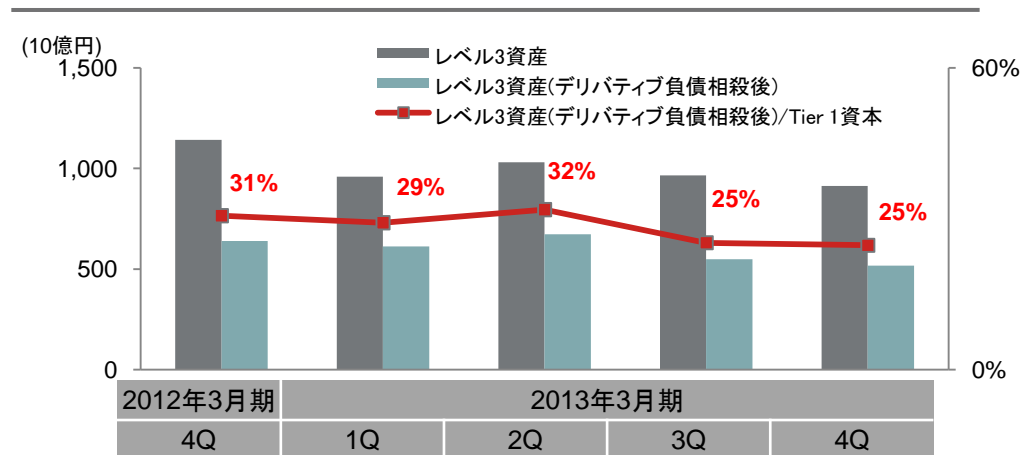
速報値	(10億円)	
	12月末 ³ (バーゼル2.5ベース)	3月末 ³ (バーゼル3ベース)
Tier 1	2,174	2,094
Tier 2	321	360
Tier 3	251	-
自己資本合計	2,492	2,454
リスク調整後資産	12,834	17,753
Tier 1 比率	16.9%	11.7%
Tier 1 コモン比率 ⁴	14.9%	11.7%
連結自己資本規制比率	19.4%	13.8%

(1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 (2) 暫定数値 (3) 信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出
 (4) Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したものの

グロス・レバレッジ、調整後レバレッジ¹



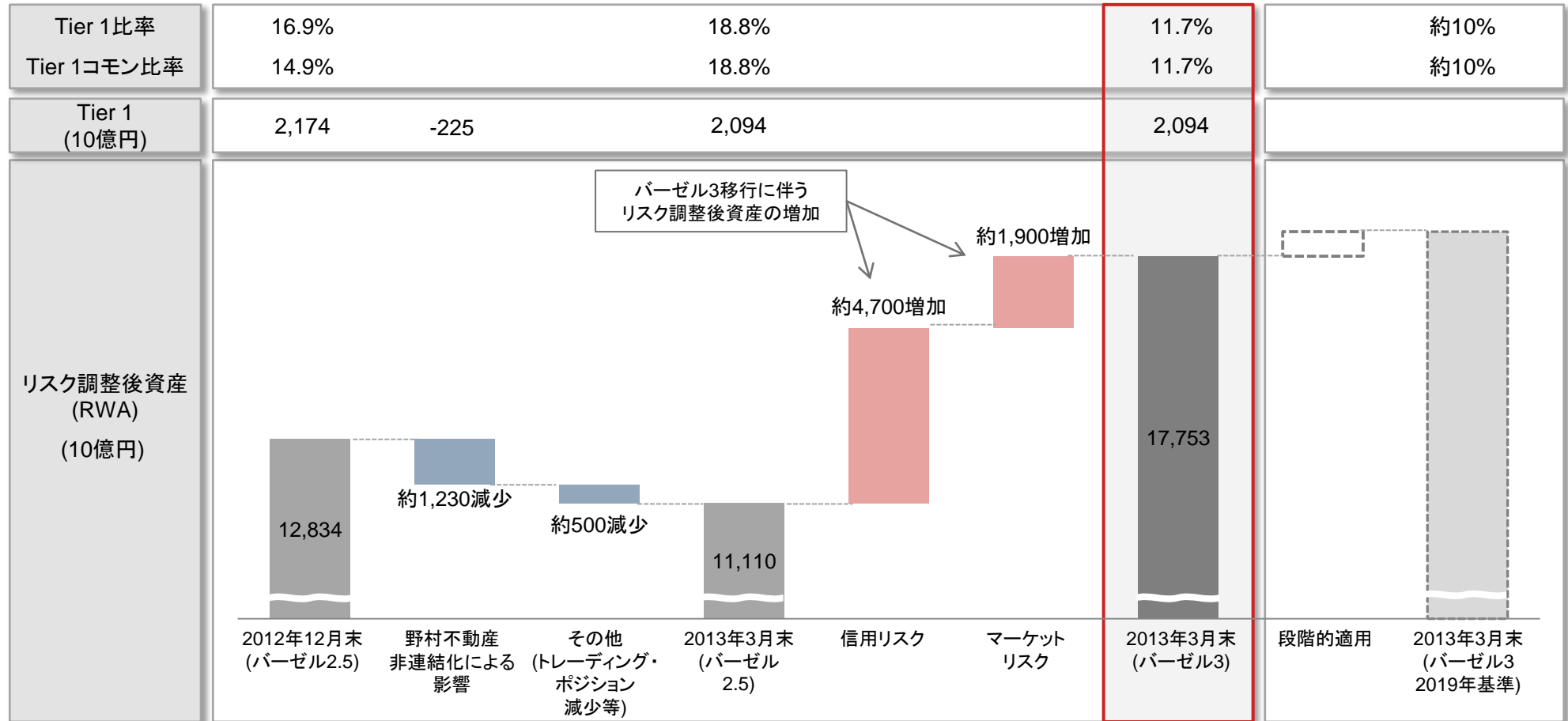
レベル3資産²の推移と対Tier 1資本比率



自己資本(Tier 1)、リスク調整後資産の変動

2012年12月末 vs. 2013年3月末(速報値)

<ご参考>
2013年3月末のバランスシートに
バーゼル3の2019年基準を適用
した場合



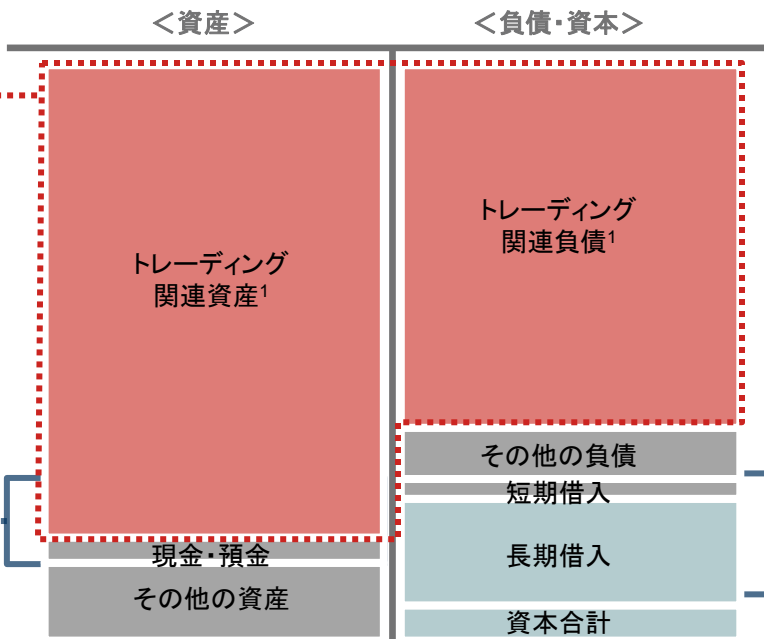
貸借対照表
(2013年3月末現在)

バランスシート構造

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
 - 資産の82%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
 - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

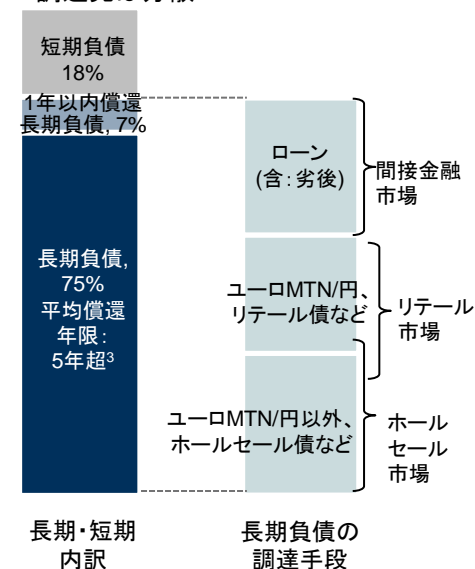
流動性ポートフォリオ²

- 流動性ポートフォリオ:
 - 5.9兆円、総資産の16%
 - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



無担保調達資金²

- 無担保調達資金の約8割が長期負債
- 調達先は分散



(1) トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等
 (2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 (3) 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

欧州周辺国(GIIPS)のカントリー・エクスポージャー(2013年3月末現在、速報値)

(百万ドル)

	インベントリー (ネット) ¹	カウンターパーティ(ネット)		合計	ネット・エク スポージャー合計	12月末からの 変動
	合計	うち、カウンター パーティ ²	うち、引当/ ヘッジ等			
ギリシャ	26	95	-2	93	120	-10
アイルランド	230	12	0	12	242	-142
イタリア	18	606	-681	-75	-57	-1,812
ポルトガル	-29	2	-38	-36	-65	-48
スペイン	476	232	-29	203	678	-8
欧州周辺国 - 合計	720	947	-750	197	918	-2,019
ソブリン	548	414	-701	-287	261	-1,817
ソブリン以外	173	533	-49	484	657	-202

- 3月末現在、欧州周辺国へのネット・カントリー・エクスポージャーは9.2億ドル
 - 12月末(29.4億ドル)から20.2億ドル(69%)減少
 - 主にイタリアのソブリン・エクスポージャーが大幅に減少
- インベントリーは全てトレーディング資産として保有しており、Mark-to-marketの対象

(1) ロング・ショートをネットした商品在庫

(2) レボ取引、株券貸借取引、OTCデリバティブ等(受入担保価値控除後)

NOMURA

Financial Supplement

連結貸借対照表

(10億円)	2012年 3月末	2013年 3月末	前期比 増減		2012年 3月末	2013年 3月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	1,954	1,653	-301	短期借入	1,186	738	-447
貸付金および受取債権	2,211	2,630	418	支払債務および受入預金	2,437	2,414	-24
担保付契約	13,743	14,115	373	担保付調達	12,519	15,409	2,890
トレーディング資産 ¹ および プライベート・エクイティ投資	14,124	17,124	3,001	トレーディング負債	7,495	8,491	996
その他の資産	3,666	2,420	-1,246	その他の負債	1,166	978	-188
				長期借入	8,505	7,592	-912
				負債合計	33,308	35,623	2,315
資産合計	35,697	37,942	2,245	資本			
				当社株主資本合計	2,107	2,294	187
				非支配持分	282	25	-257
				負債および資本合計	35,697	37,942	2,245

(1)担保差入有価証券を含む

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

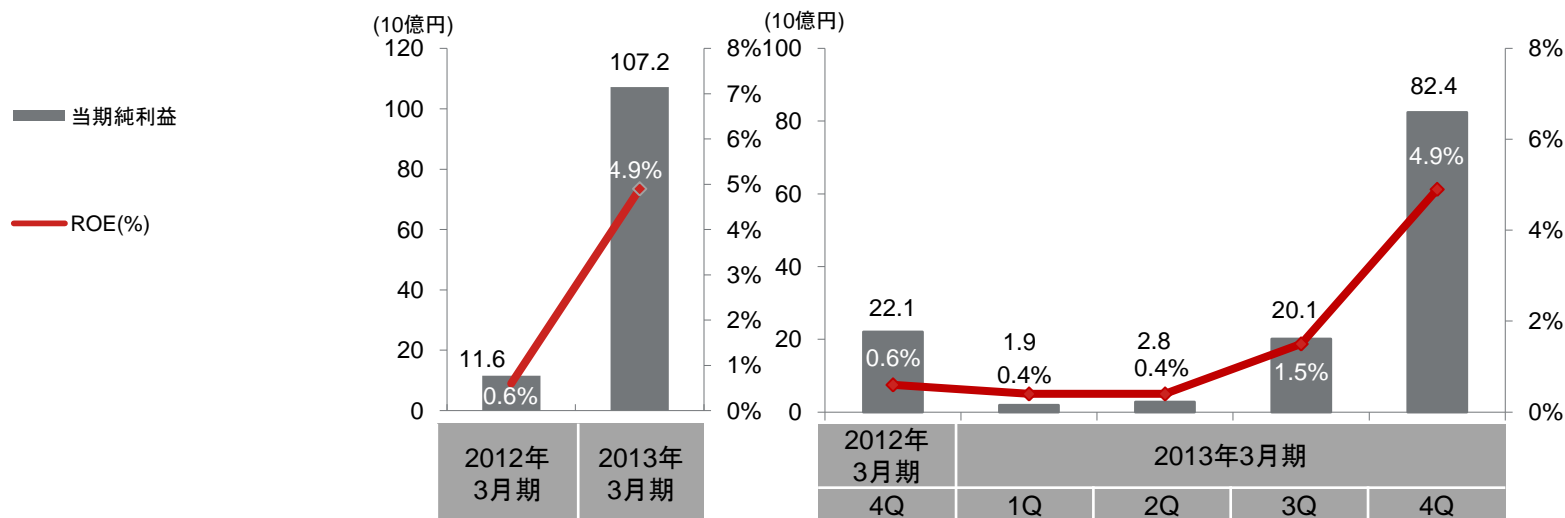
■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2012.4.1~2013.3.29
- 最大 : 8.7
- 最小 : 4.3
- 平均 : 6.1

(10億円)	2012年 3月末	2012年 6月末	2012年 9月末	2012年 12月末	2013年 3月末
株式関連	1.4	1.2	1.0	2.4	1.3
金利関連	6.5	5.7	6.6	6.4	5.0
為替関連	2.5	1.7	1.9	2.1	1.9
小計	10.4	8.6	9.5	11.0	8.1
分散効果	-3.2	-3.2	-2.3	-3.8	-3.0
連結VaR	7.2	5.4	7.1	7.2	5.1

通期

四半期



収益合計(金融費用控除後)	1,535.9	1,813.6
税引前当期純利益	85.0	237.7
当社株主に帰属する当期純利益	11.6	107.2
当社株主資本合計	2,107.2	2,294.4
ROE(%) ¹	0.6%	4.9%
希薄化後-1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	3.14	28.37
1株当たり株主資本(円)	575.20	618.27

	499.0	369.3	401.7	389.1	653.6
	60.8	19.7	35.4	13.0	169.7
	22.1	1.9	2.8	20.1	82.4
	2,107.2	2,099.7	2,096.6	2,167.9	2,294.4
	0.6%	0.4%	0.4%	1.5%	4.9%
	5.92	0.50	0.74	5.33	21.55
	575.20	569.26	567.43	585.27	618.27

(1) 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

(10億円)	通期		四半期					
	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年 3月期	2013年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
収益								
委託・投信募集手数料	347.1	359.1	90.4	77.4	72.3	83.7	125.7	
投資銀行業務手数料	59.6	62.4	14.8	10.4	17.1	13.0	21.8	
アセットマネジメント業務手数料	144.3	141.0	35.1	33.8	33.4	35.0	38.8	
トレーディング損益	272.6	368.0	98.9	84.4	88.9	88.2	106.5	
プライベート・エクイティ投資関連損益	25.1	8.1	-1.2	-5.4	0.3	11.6	1.5	
金融収益	435.9	394.0	92.4	103.5	92.8	99.7	98.0	
投資持分証券関連損益	4.0	38.7	9.9	-7.1	13.0	8.9	23.9	
その他	563.2	708.8	225.0	142.6	143.4	118.8	304.0	
収益合計	1,851.8	2,079.9	565.4	439.6	461.2	459.0	720.1	
金融費用	315.9	266.3	66.4	70.3	59.5	69.9	66.5	
収益合計(金融費用控除後)	1,535.9	1,813.6	499.0	369.3	401.7	389.1	653.6	
金融費用以外の費用	1,450.9	1,575.9	438.2	349.6	366.3	376.1	483.9	
税引前当期純利益	85.0	237.7	60.8	19.7	35.4	13.0	169.7	
当社株主に帰属する当期純利益	11.6	107.2	22.1	1.9	2.8	20.1	82.4	

	通期		四半期					
	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年 3月期	2013年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
(10億円)								
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	36.0	51.8	11.1	7.4	7.0	10.7	26.6
	株式委託手数料(その他)	132.7	112.9	31.8	28.4	25.3	27.2	32.0
	その他委託手数料	9.4	11.7	1.8	2.3	2.6	3.0	3.8
	投信募集手数料	136.6	150.1	37.6	31.6	28.9	35.2	54.4
	その他	32.4	32.6	8.2	7.6	8.5	7.5	9.0
	合計	347.1	359.1	90.4	77.4	72.3	83.7	125.7
投資銀行 業務手数料	株式	14.3	21.1	5.4	1.6	9.7	3.4	6.4
	債券	14.6	7.8	1.7	1.1	1.1	1.5	4.2
	M&A・財務コンサルティングフィー	27.0	25.6	5.8	6.2	4.9	6.3	8.2
	その他	3.7	7.7	1.9	1.5	1.4	1.8	3.0
	合計	59.6	62.4	14.8	10.4	17.1	13.0	21.8
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	108.2	105.3	25.9	24.9	24.8	26.3	29.3
	アセット残高報酬	18.4	18.6	4.8	4.6	4.4	4.5	5.1
	カストディアルフィー	17.7	17.1	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4
	合計	144.3	141.0	35.1	33.8	33.4	35.0	38.8

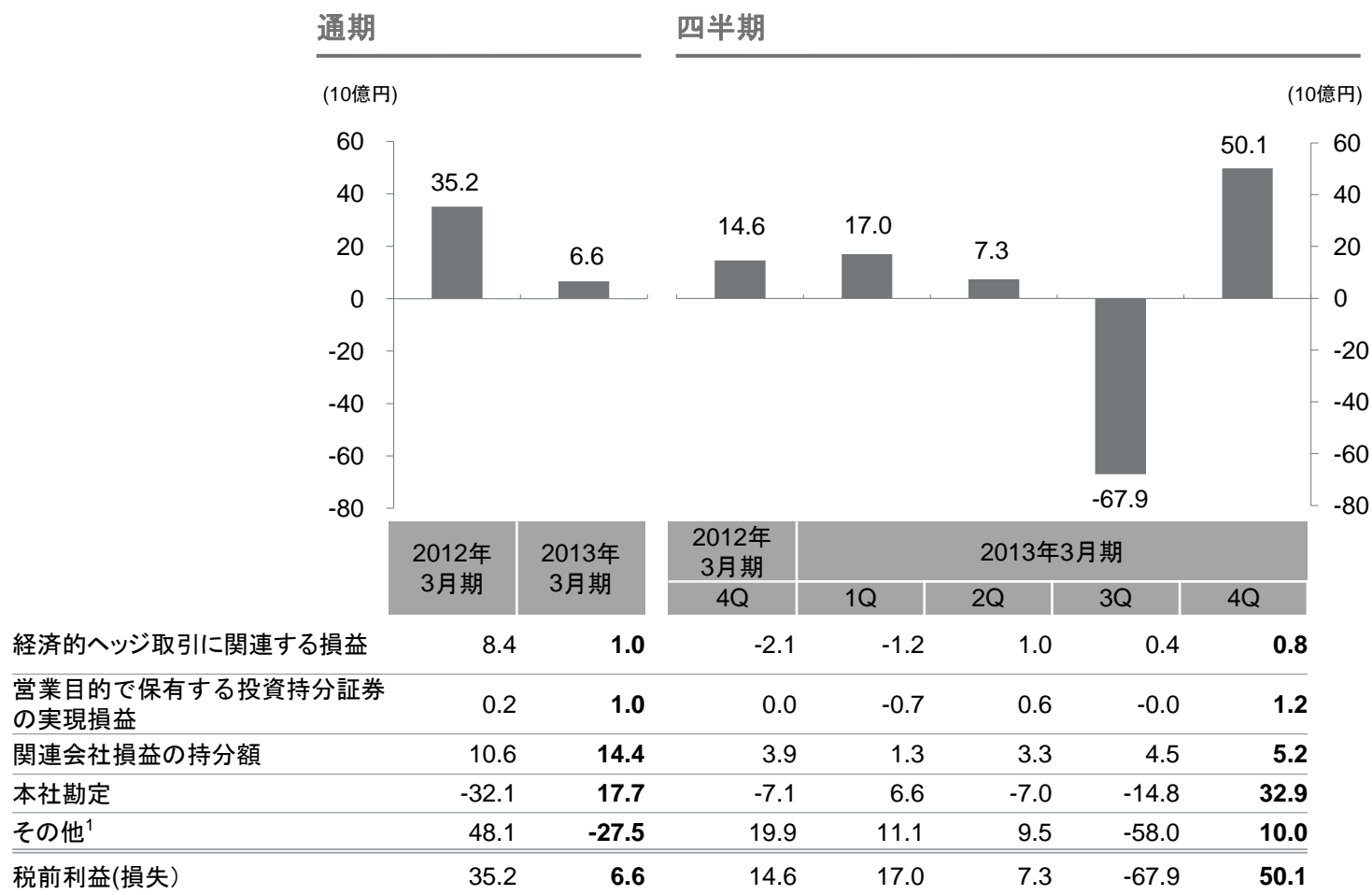
連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)

NOMURA

(10億円)	通期		四半期				
	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年3月期	2013年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業部門	63.1	100.6	20.3	12.2	11.0	20.3	57.2
アセット・マネジメント部門	20.5	21.2	4.1	5.4	4.6	7.3	3.9
ホールセール部門 ¹	-37.7	71.7	11.9	-8.6	0.2	44.4	35.7
3セグメント合計税前利益(損失)	46.0	193.5	36.3	9.0	15.7	71.9	96.8
その他 ¹	35.2	6.6	14.6	17.0	7.3	-67.9	50.1
セグメント合計税前利益(損失)	81.2	200.0	50.9	26.0	23.1	4.1	146.9
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	3.8	37.7	9.9	-6.3	12.4	8.9	22.8
税引前当期純利益(損失)	85.0	237.7	60.8	19.7	35.4	13.0	169.7

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

税前利益(損失)



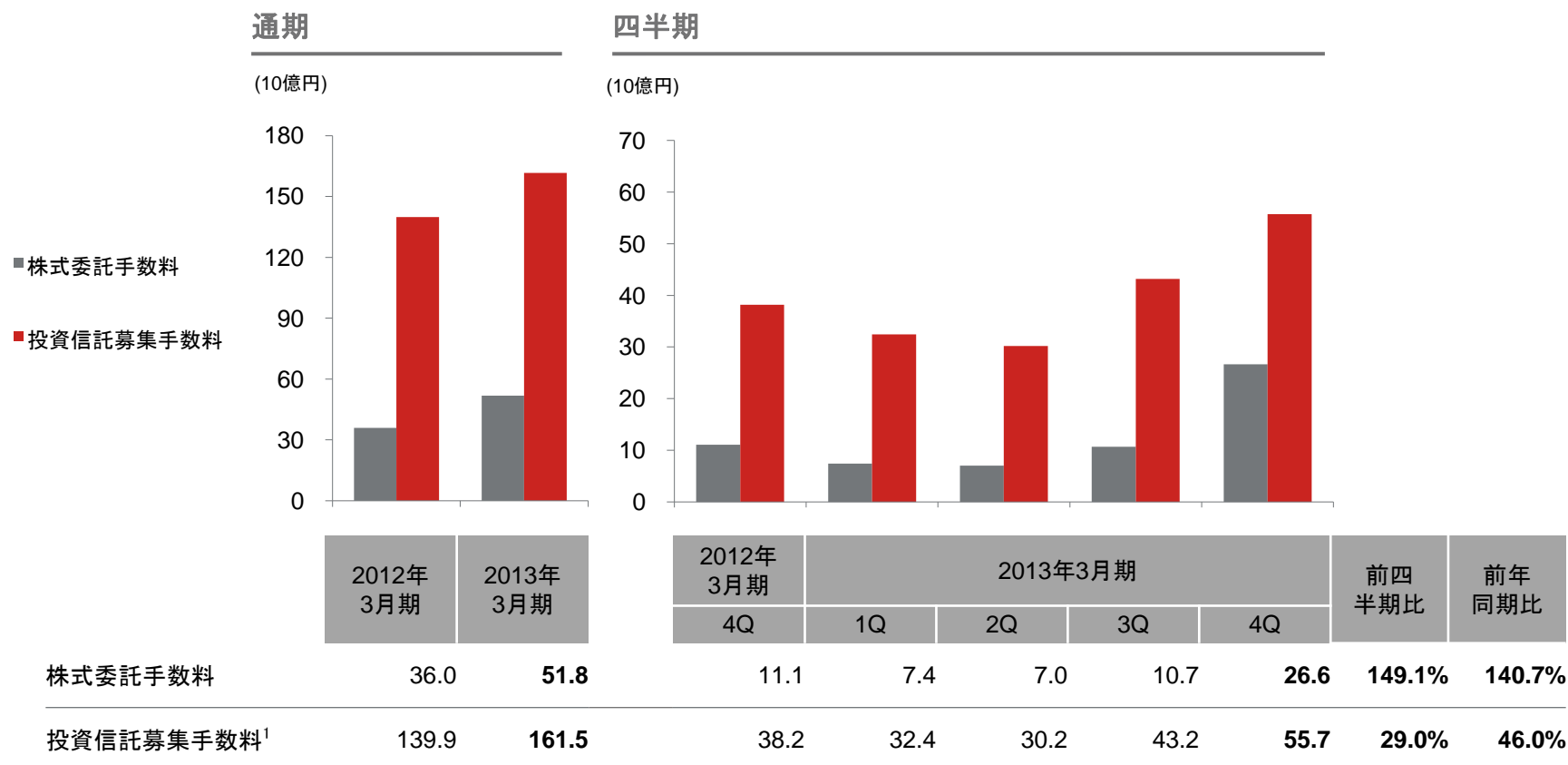
(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

営業部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年 3月期 4Q	2013年3月期					
				1Q	2Q	3Q	4Q		
委託・投信募集手数料	201.5	225.9	55.8	44.1	41.7	55.7	84.4	51.4%	51.2%
販売報酬	59.0	80.9	15.6	15.1	16.8	20.3	28.6	40.7%	83.3%
投資銀行業務手数料等	38.2	36.8	8.7	10.3	9.4	6.6	10.4	57.8%	19.6%
投資信託残高報酬等	47.4	49.7	11.4	11.9	12.0	12.1	13.7	12.8%	19.5%
純金融収益等	4.2	4.6	0.8	1.2	0.9	0.9	1.7	88.5%	102.8%
収益合計(金融費用控除後)	350.3	397.9	92.4	82.7	80.8	95.7	138.7	45.0%	50.2%
金融費用以外の費用	287.1	297.3	72.1	70.5	69.8	75.4	81.5	8.1%	13.1%
税前利益	63.1	100.6	20.3	12.2	11.0	20.3	57.2	182.4%	182.0%
国内投信販売金額 ¹	8,933.9	9,027.6	2,381.8	1,952.0	1,804.8	2,198.4	3,072.4	39.8%	29.0%
公社債投信	2,869.4	2,719.2	743.2	733.9	549.2	612.1	824.0	34.6%	10.9%
株式投信	5,217.8	5,457.0	1,479.9	1,055.7	1,047.7	1,386.2	1,967.5	41.9%	32.9%
外国投信	846.6	851.4	158.7	162.4	207.9	200.1	281.0	40.4%	77.1%
その他									
年金保険契約累計額(期末)	1,800.8	1,909.5	1,800.8	1,828.3	1,856.9	1,883.2	1,909.5	1.4%	6.0%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	281.2	189.1	62.8	62.3	36.9	47.1	42.8	-9.1%	-31.9%
リテール外債販売額	1,703.4	1,485.8	397.5	460.8	350.2	346.9	327.9	-5.5%	-17.5%

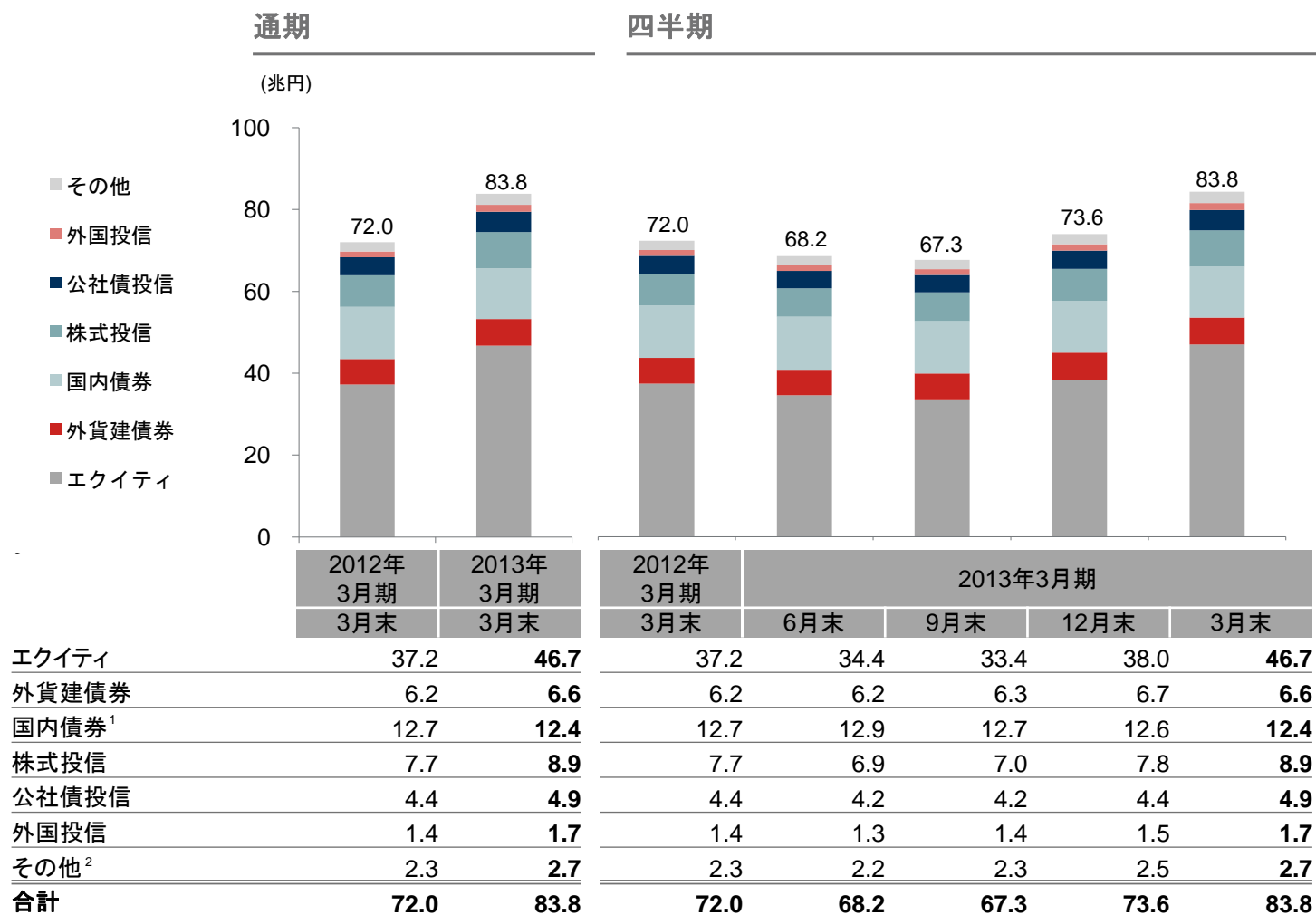
(1) 野村証券単体ベース

株式委託手数料と投資信託募集手数料



(1) 野村証券単体ベース

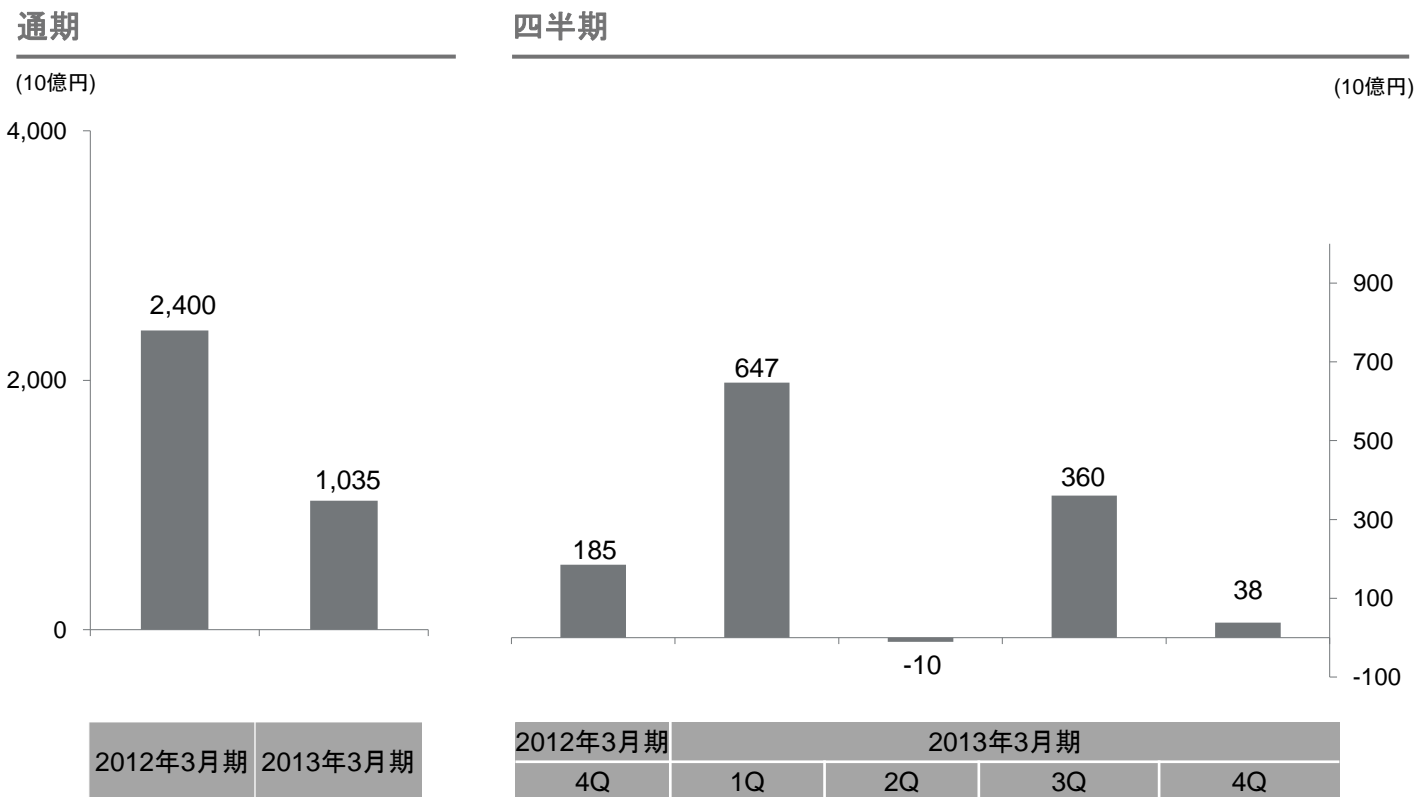
営業部門顧客資産残高



(1) CB・ワラントを含む

(2) 年金保険契約資産残高を含む

営業部門顧客資産純増¹



(1) 顧客資産純増=資産流入額-資産流出額、地域金融機関分を除く

口座数

(千口座)	2012年3月期	2013年3月期	2012年3月期	2013年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
残あり顧客口座数	4,985	5,025	4,985	4,997	5,003	5,006	5,025
株式保有口座数	2,706	2,717	2,706	2,714	2,731	2,710	2,717
ホームトレード / ネット&コール口座数 ¹	3,773	3,747	3,773	3,796	3,823	3,846	3,747

個人新規開設口座数・IT比率²

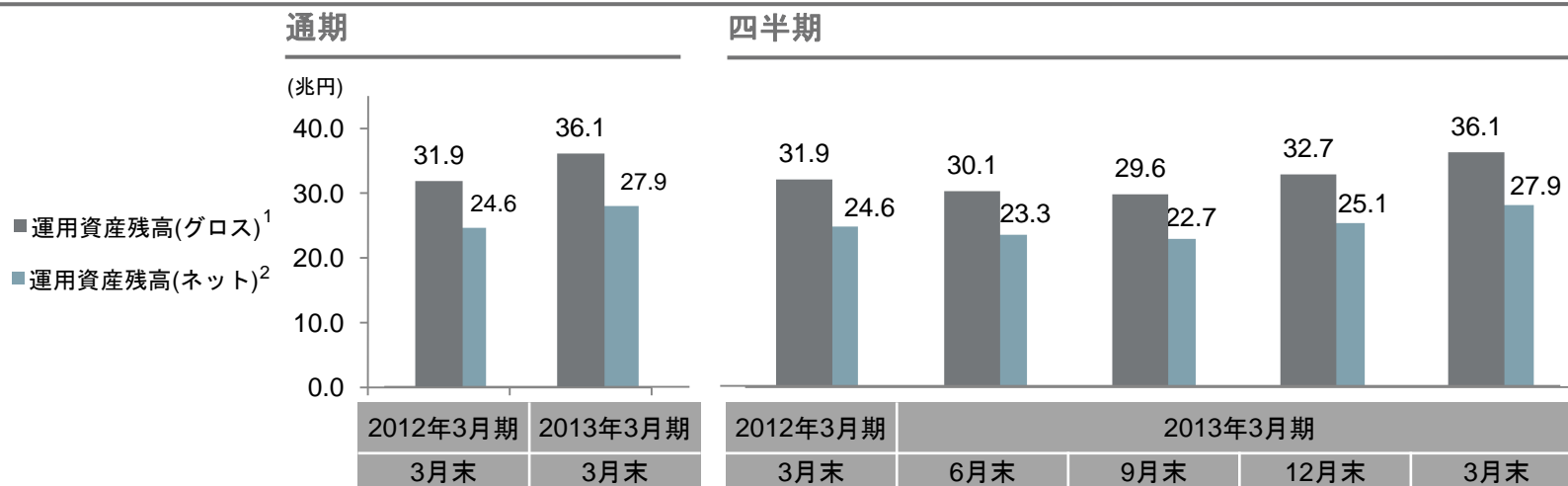
(千口座)	通期		四半期				
	2012年 3月末	2013年 3月末	2012年3月期 4Q	2013年3月期			
				1Q	2Q	3Q	4Q
個人新規開設口座数	235	266	64	52	70	63	82
IT比率 ²							
売買件数ベース	57%	55%	56%	55%	54%	53%	57%
売買金額ベース	30%	31%	29%	29%	27%	29%	34%

(1) 2011年12月末より、ホームトレードとネット&コールを合算した口座数を掲載
 (2) IT比率は現物株と株式ミニ投資の合計においてホームトレードとテレフォンアンサーで売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年 3月期	2013年3月期					前四 半期比	前年 同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計(金融費用控除後)	65.8	68.9	15.7	16.4	15.4	18.8	18.3	-2.6%	16.5%	
金融費用以外の費用	45.3	47.8	11.6	11.0	10.9	11.5	14.4	25.3%	24.0%	
税前利益	20.5	21.2	4.1	5.4	4.6	7.3	3.9	-46.4%	-4.8%	

アセット・マネジメント部門 運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

アセット・マネジメント部門 運用資産残高(グロス)¹—ビジネス別

(兆円)	2012年	2013年	2012年	2013年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
投資信託ビジネス	23.0	26.5	23.0	21.5	21.7	24.0	26.5
投資顧問ビジネス	8.9	9.6	8.9	8.6	7.8	8.7	9.6
運用資産残高(グロス) ¹	31.9	36.1	31.9	30.1	29.6	32.7	36.1

運用資産残高—会社別

(兆円)	2012年	2013年	2012年	2013年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
野村アセットマネジメント	27.0	30.7	27.0	25.5	24.9	27.6	30.7
野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー ²	2.8	2.9	2.8	2.6	2.5	2.8	2.9
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	1.5	1.8	1.5	1.5	1.6	1.7	1.8
野村プライベート・エクイティ・キャピタル	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7
運用資産残高(グロス) ¹	31.9	36.1	31.9	30.1	29.6	32.7	36.1
グループ会社間の重複資産	7.3	8.2	7.3	6.8	6.9	7.6	8.2
運用資産残高(ネット) ³	24.6	27.9	24.6	23.3	22.7	25.1	27.9

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計

(2) 2013年1月に野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーがノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカを子会社化したことに伴い、運用資産残高を過去に遡り合算して表示

(3) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

(4) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額

(5) 出所: 投資信託協会

アセット・マネジメント部門 資金流出入—ビジネス別⁴

(10億円)	通期		四半期				
	2012年	2013年	2012年	2013年3月期			
	3月期	3月期	3月期	4Q	1Q	2Q	3Q
投資信託ビジネス	295	1,099	13	128	87	354	530
うちETF	347	424	-19	241	70	48	66
投資顧問ビジネス	513	-529	-87	218	-790	58	-15
資金流出入 合計	808	570	-73	346	-703	412	515

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア⁵

(兆円)	2012年	2013年	2012年	2013年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
国内公募株式投信残高							
マーケット	51.2	60.0	51.2	47.9	48.3	52.9	60.0
野村アセットマネジメント シェア	17%	18%	17%	17%	17%	18%	18%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	11.0	12.6	11.0	10.5	10.4	11.1	12.6
野村アセットマネジメント シェア	44%	43%	44%	44%	44%	43%	43%

ホールセール部門関連データ(1)

ホールセール部門

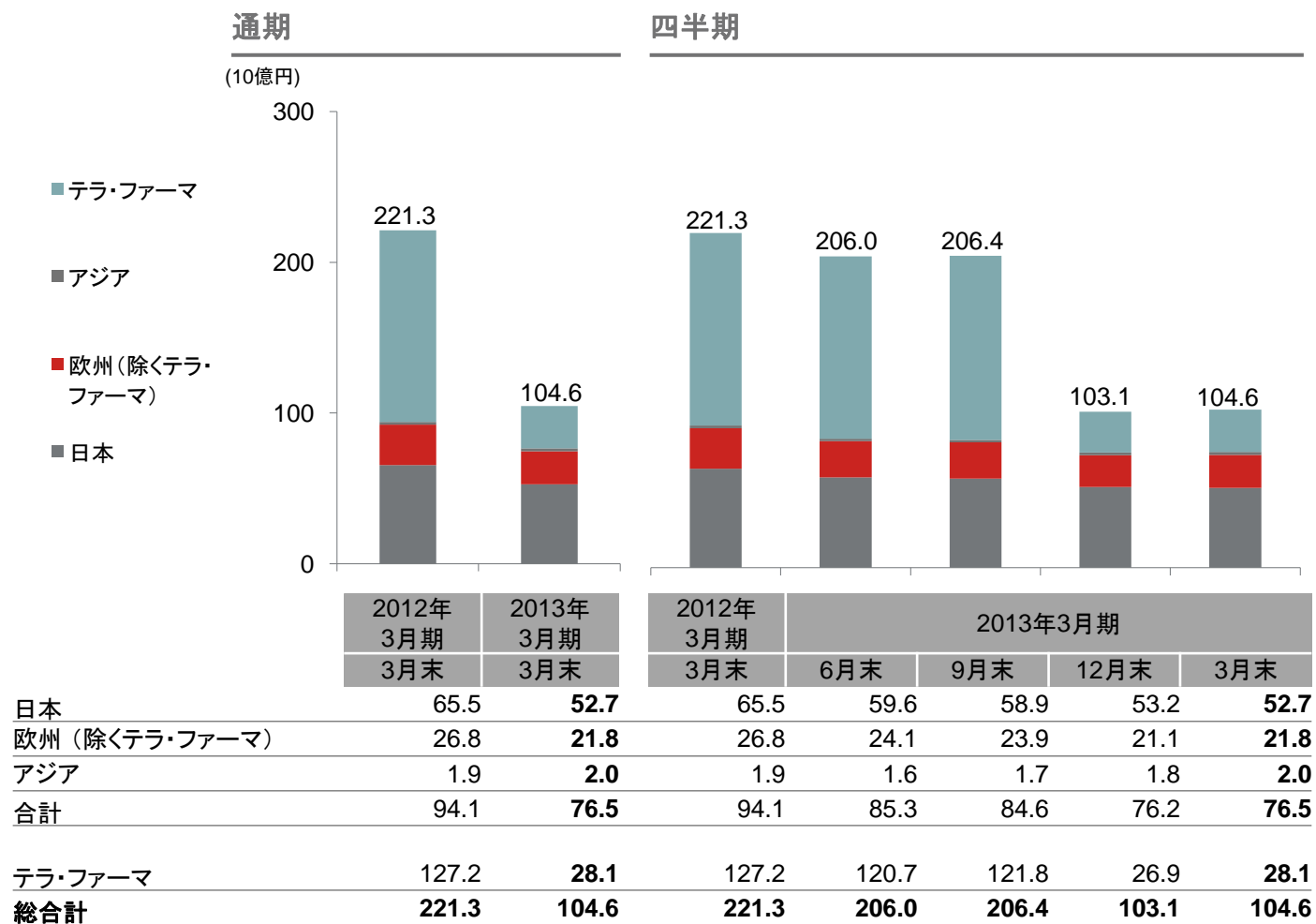
(10億円)	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年3月期					前四 半期比	前年 同期比
			2013年3月期						
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	555.0	644.9	158.4	121.9	137.1	189.0	196.9	4.2%	24.3%
金融費用以外の費用	592.7	573.2	146.5	130.4	136.9	144.6	161.3	11.5%	10.0%
税前利益/損失	-37.7	71.7	11.9	-8.6	0.2	44.4	35.7	-19.6%	3.0x

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	2012年 3月期	2013年 3月期	2012年3月期					前四 半期比	前年 同期比
			2013年3月期						
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム	274.5	378.7	87.0	71.5	88.6	110.7	108.0	-2.5%	24.1%
エクイティ	181.2	181.7	51.6	37.1	32.1	47.3	65.1	37.6%	26.3%
グローバル・マーケット	455.8	560.4	138.6	108.6	120.7	158.0	173.1	9.5%	24.9%
インベストメント・バンキング(ネット)	75.4	72.0	21.2	15.1	15.8	17.7	23.4	31.8%	10.2%
その他	23.9	12.4	-1.4	-1.8	0.6	13.2	0.4	-96.7%	-
インベストメント・バンキング	99.3	84.4	19.8	13.3	16.4	30.9	23.8	-23.1%	20.1%
収益合計(金融費用控除後)	555.0	644.9	158.4	121.9	137.1	189.0	196.9	4.2%	24.3%
金融費用以外の費用	592.7	573.2	146.5	130.4	136.9	144.6	161.3	11.5%	10.0%
税前利益/損失	-37.7	71.7	11.9	-8.6	0.2	44.4	35.7	-19.6%	3.0x
インベストメント・バンキング(グロス)	141.7	143.0	40.5	32.2	33.3	33.4	44.1	31.9%	8.9%

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

プライベート・エクイティ関連投資残高



	2012年3月末	2012年6月末	2012年9月末	2012年12月末	2013年3月末
日本(FA除く) ¹	19,598	20,197	20,039	19,877	14,123
FA社員	2,011	2,014	1,981	1,951	1,907
欧州	4,014	3,975	3,940	3,747	3,618
米州	2,420	2,423	2,425	2,316	2,271
アジア・オセアニア ²	6,352	6,454	6,430	6,207	6,037
合計	34,395	35,063	34,815	34,098	27,956

(1) プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない

(2) インド(ボワイ・オフィス)を含む

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/